

米国経済・株式市場情報

# アフターコロナに向けた米国投資の注目点

## 米国MMF残高は増加傾向、待機資金は投資機会を探る

米国株式の上昇が続く中においても、投資家の待機資金とされるMMF（マネー・マーケット・ファンド）\*の残高は高水準を維持しています。これは、投資家の慎重姿勢を表すと同時に、今後の投資機会を探っていることを示していると考えられます。また、2021年1月に発足したバイデン政権の景気刺激策等の影響から、米国の企業や家計が抱える余剰資金がMMF市場に流入する現象が起きています（図表1）。  
\*公社債投資信託

図表1：米国MMFの残高とS&P500種指数の推移



(出所) ブルームバーグ  
(期間) 2019年1月初～2021年8月6日（日次）※米国MMF残高は週次データ

## 金利低下を契機にグロース株が勢いを取り戻す

米国株式市場は、インフレや金利上昇への懸念が強まった3月から5月にかけて、バリュー株優位の相場展開が続きました。しかし、6月に入り、米10年国債利回りが低下に転じたことをきっかけに、再びグロース株が堅調に推移しています（図表2）。

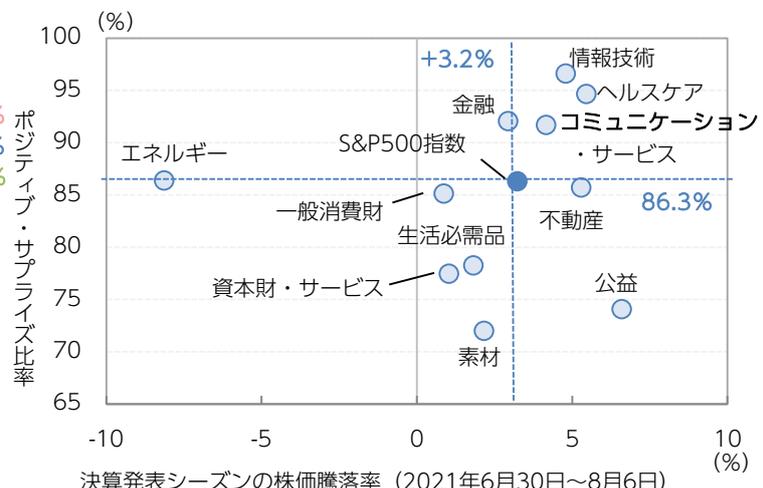
2021年4～6月期の決算発表シーズンにおいて好業績をけん引したのは、情報技術やヘルスケア、コミュニケーション・サービスなどのセクターでした（図表3）。エネルギーセクターは好調な決算が確認されたものの、足元の新型コロナウイルスで感染力が強いとされるデルタ株の感染拡大で、景気低迷や燃料需要の低下などの懸念から、株価騰落率は市場平均（S & P 500種指数）を下回っています。

図表2：米国株式のパフォーマンス推移



(出所) ブルームバーグ  
(期間) 2021年1月2日～8月6日（日次）※S&P500種指数ベース

図表3：2021年第2四半期決算のポジティブ・サプライズ比率と株価騰落率（セクター別）

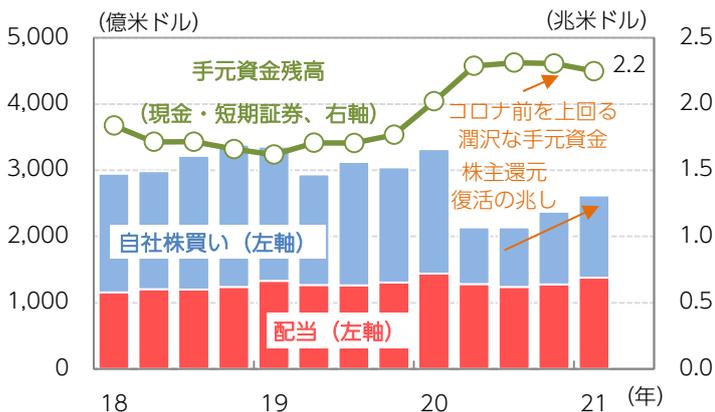


決算発表シーズンの株価騰落率（2021年6月30日～8月6日）  
(出所) ファクトセット、ブルームバーグ  
※ポジティブ・サプライズ比率は2021年第2四半期決算において、一株当たり利益が市場予想を上回った銘柄の比率（8月6日時点）。

## 米国企業の株主還元が復活の兆し

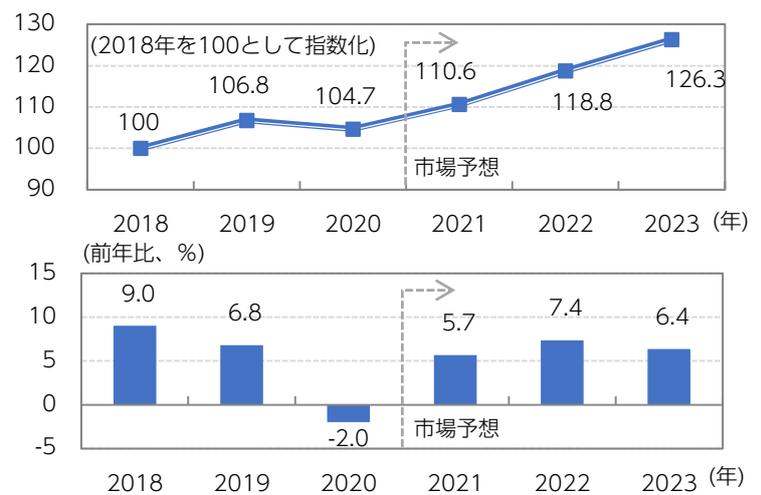
米国企業はコロナ危機による資金調達環境の悪化などに備え、積極的な設備投資を控えたことなどから潤沢な手元資金を抱えています。米国企業の手元資金残高は、コロナ前を上回る高水準となっています（図表4）。今後、コロナ危機が収束し、経済活動が正常化に向かう過程において、米国企業が保有する潤沢な手元資金を、設備投資や、株主還元など、いかにして有効活用していくかが注目されそうです。足元では、自社株買いや配当などの株主還元が復活の兆しもみられています。米国内でもデルタ株による感染拡大懸念はくすぶるものの、米国企業の配当は2021年～2023年にかけて安定した成長が見込まれております（図表5）。

図表4：米国企業の手元資金残高と株主還元実施額の推移



(出所) ファクトセット  
(期間) 2018年第1四半期～2021年第1四半期 (四半期)  
※米国企業はS&P500種指数採用銘柄ベース

図表5：米国株の一株当たり配当の推移

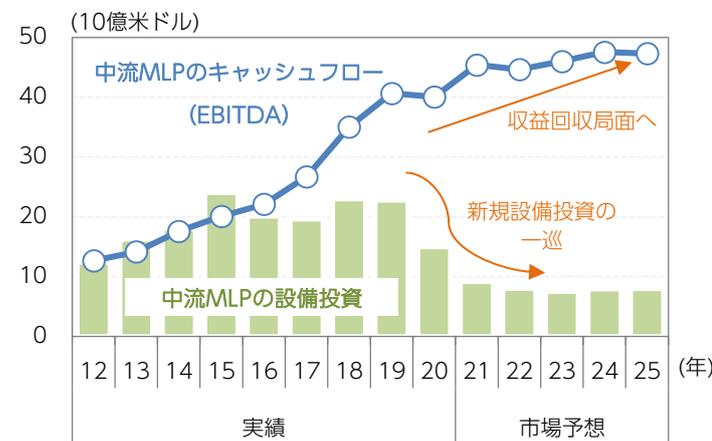


(出所) ファクトセット (期間) 2018年～2023年 (年次)  
※米国株はS&P500種指数。市場予想は8月10日時点。

## MLPは新規設備投資が一巡し、収益拡大局面へ

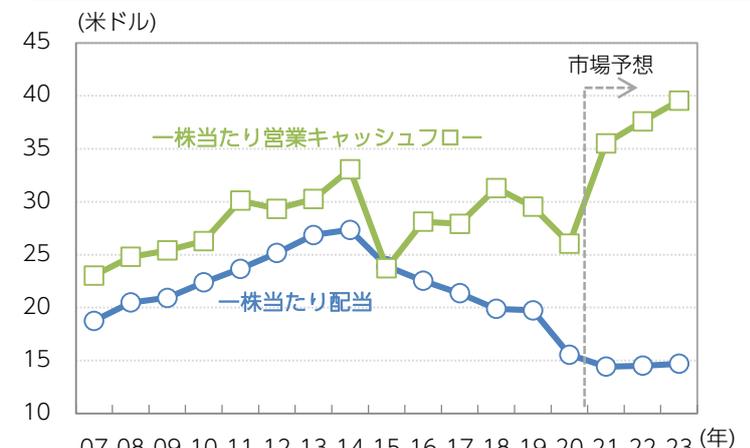
主にパイプライン事業などを担う中流MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）による新規設備投資は、これまでの大規模な設備投資が一巡しており、負債削減を重視する姿勢もあることから、当面、新規の設備投資は控えられものとみられます（図表6）。一方、これまでに投資をした設備が順次稼働し始めることで、今後は、フリー・キャッシュフローの拡大が見込まれます。今後は、営業キャッシュフローの改善などにより、自社株買いや緩やかながらも増配の余力が高まることが期待されていることから（図表7）、2014年をピークに減配が続いていたMLPの配当は、2021年以降、減配の動きが終息すると予想されています。

図表6：MLPのキャッシュフローと設備投資額の推移



(出所) ファクトセット  
(期間) 実績：2012～2020年 (年次)、予想：2021～2025年 (年次)  
※集計対象は中流MLP29銘柄 ※市場予想は2021年6月末時点

図表7：MLPの営業キャッシュフロー・配当の推移



(出所) ファクトセット  
(期間) 実績：2007～2020年 (年次)、予想：2021～2023年 (年次)  
※集計対象はアレリアンMLP指数採用銘柄  
※市場予想は2021年6月末時点

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、フランクリン・テンプルトン・ジャパンの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>